

事務事業名	真岡市議会だより発行事業			担当	議会事務局 議事課 議事調査係		
政策名	F	市民の知恵と夢で拓くみんなのまちづくり		電話番号	83-8176		
施策名	3	開かれた市政の推進		<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
基本事業名				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和38年度～）		
予算科目			1		1	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度 年度～ 年度）	
事業概要	市議会の活動内容を「市議会だより」を作成し、町会を通じて全世帯に配布して市民に議会活動の情報提供をする。						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動） 22年度実績 定例号年4回4月、7月、10月、1月臨時号年2回5月、1月発行部数1回あたり23,700部 23年度計画 定例号年4回4月、7月、10月、1月臨時号年2回5月、1月発行部数1回あたり23,700部	⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
	名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
	ア 発行回数	回	6	6	6	6	6
	イ 編集委員会議の数	回	12	12	12	12	12
	ウ エ オ						
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 市民(市内全世帯)	⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
	名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
	ア 発行部数	部	18700	18900	23700	23700	23700
	イ ウ エ オ						
	③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 一般質問や審議された議案の内容及び議会活動の状況を市民に情報提供する。	⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移					
名称		単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
ア 市議会だよりを読んでいると回答があった市民の割合		%			74.0	77.5	78
イ ウ エ オ							
④ 結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 読みやすい市議会だよりを発行し、市民に議会活動を理解してもらい、市政への関心を高めてもらう。		⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移					
	名称	単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
	ア 市議会だよりが読みやすいと回答があった市民の割合	%			57.6	53.0	60
	イ ウ エ オ						

(2) 総事業費の推移		単位	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(見込)
投入量	事業費 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	4,807	4,856	5,276	4,869
		事業費計(A)	千円	4,807	4,856	5,276	4,869
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	900	900	900	900
		人件費計(B)	千円	3,770	3,760	3,650	3,841
		トータルコスト(A)+(B)	千円	8,577	8,616	8,926	8,710

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	市議会の活動内容を積極的に市民に知らせるべきとの議員の提案により、昭和38年10月20日に創刊した。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	昭和42年から43年にかけて第一・第二工業団地の完成、平成10年に第三・第四工業団地の完成、その後第五工業団地が造成され、また、市街化区域での区画整理事業の推進で住宅地が供給されたことにより、市外からの転入者が増加し、それに伴う人口増により発行部数が増えてきた。また、平成21年3月23日の二宮町との合併により世帯数が増加した。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	特になし。

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 議会の活動、議案の審議結果の公開をはかり、市民参加型の市政を実現する。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 議会の情報を全市民に早く、公平に提供する。公共性・中立性の確保。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 議会の情報を全市民に早く、公平に提供している。
有効性 評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 市の広報紙「広報もわか」と同様に用紙サイズを平成19年度からA4判化して、読みやすいように努めてきた。今後も読みやすい編集にするなどの工夫が必要。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 全市民が議会の情報を早く、公平に得ることができなくなる
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最小限の経費で実施している。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか？ (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要な最低限の人件費である。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある すべて無料配布をしているので、受益者負担はない。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> : 目的妥当性 <input type="checkbox"/> : 有効性 <input type="checkbox"/> : 効率性 <input type="checkbox"/> : 公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？ 市民に親しまれ、読みやすい紙面づくりに心がける。																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項 文字を大きくしたり、写真を多く取り入れて読みやすい紙面づくりに努める																							